

公共交通の利用促進事業について

基本目標 2 路線バスを身近にして公共交通を「育てる」に基づく取組

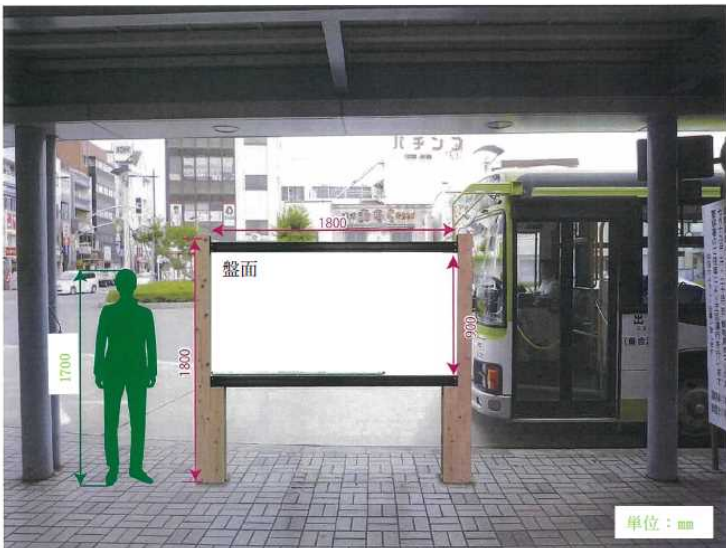
■ 施策 1 : バス路線をわかりやすく見せるための取組の推進

1 わかりやすいバス案内看板の設置

(1) 内容 飯能駅北口は、メツァ来訪客をはじめ外国人を含めた多くの観光客に観光の玄関口として利用されている。一方で、いかにして観光客に市内を回遊してもらうかが大きな課題となっている。飯能駅北口の既存の案内看板をリニューアルし、主な表示等には外国人観光客のために英語併記をする。主にメツァ来訪客に市内の他の観光スポット情報を提供することで、各観光スポットへの路線バスでの来訪を促進する。

(2) 設置日 令和2年3月下旬(予定)

(3) 場所 飯能駅北口ロータリー内



△設置イメージ

バス停留所表記イメージ図



観光スポット紹介イメージ図



## ■施策2：市民・地元企業を巻き込んだモビリティマネジメントの実施

### 1 「2019はんのう市ノーマイカーデー」開催（※別紙1参照）

- (1) 期間 令和元年12月1日（日）～12月31日（火）
- (2) 参加者 768人  
内訳 事業所336人、市役所362人、個人70人
- (3) 協賛店 25店舗

⇒来年度、路線バス、鉄道路線が乗り合わせている日高市との共同開催を検討している。両市にまたがる公共交通のさらなる利用者の増加を目指す。

## ■施策3：マイバス意識の醸成

### 1 出前講座の開催（いずれも「持ち寄りサロン」主催）

#### ◇どうする？どうなる？免許返納

- (1) 開催日 令和元年8月20日
- (2) 参加者 42人
- (3) 内容 ○第1部「私の悩み、現状を出しあって意見交換」  
○第2部「総合福祉センターの送迎バス」

#### ◇どうする？どうなる？免許返納（8月の続き）

- (2) 開催日 令和元年11月19日
- (3) 参加者 22人
- (4) 内容 ○第1部 話し合いの部「私にとってどうなれば免許返納が実現となるのでしょうか？」  
(免許返納者2名を招いての体験談)  
○第2部 「飯能市の交通政策について」

⇒高齢者の運転免許証の返納をテーマに2回に分けて開催した。第2回では既に免許を返納した2名から体験談を話していただいた。

#### 免許返納者体験談より

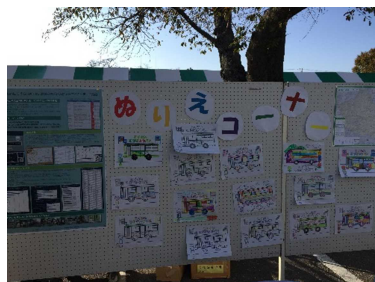
- ・「返納をすると身体は不便になるが、（事故のリスクから解放されて）心は不便ではなくなる。」
- ・「自分の生活スタイルを変えていく必要がある。返納を機にサークル活動等を制限した。」

### 2 はんのう生活祭での各事業開催

- (1) 開催日 令和元年11月10日（日） 午前10時～午後3時
- (2) 内容 ①国際興業バス車両を展示し、「バスの乗り方教室」を実施する。  
②親子連れを対象とした、「運転手体験」を実施する。（子ども用制服着用）  
③バスに対する愛着を醸成するため、ブース隣にバスの「ぬりえコーナー」を設置する。  
④各事業参加者にノベルティグッズ（国際興業提供）をプレゼント、その他バスルートマップ等を配布し、公共交通利用の意識啓発につなげる。

- (3) 参加者 ①バスの乗り方教室 11人  
 ②運転手体験 170人  
 ③ぬりえコーナー 64人
- (4) 協力 国際興業(株)

⇒前年度に比べ盛況であった。バスの乗り方教室では、子どもの参加を想定していたが、バスの乗り方が分からないという高齢者の参加者も目立った。運転手体験では親子連れを中心に終日賑わっていた。ほんのう生活祭全体の来場者は約1万6千人と多く、今後も市民への公共交通の利用啓発の場として活用していきたい。



### 3 「第2回ノリノリ！のりものフェスティバル」開催

- (1) 開催日 令和元年12月8日(日) (会場：所沢航空記念公園)
- (2) 来場者 約1万5千人
- (3) 内容 ○車両の展示  
 路線バス、コミュニティバス(ワゴン)、ジャパンタクシー、ユニバーサルデザインタクシー、交通安全体験車、消防車、救急車、パトカー ほか 計16台
- 試乗・体験等  
 ダイア公共交通啓発ブースの出展、バスものしり講座、交通バリアフリー講座、運転手体験、交通安全体験、スタンプラリー、その他各種デモンストレーション ほか
- (4) 主催 ダイアプラン(飯能市・日高市・所沢市・狭山市・入間市) 公共交通部会
- (5) 共催 関東運輸局埼玉運輸支局、埼玉県、(一社)埼玉県バス協会 ほか
- (6) 協力 西武バス株式会社、西武ハイヤー株式会社、松葉交通株式会社、イーグルバス株式会社、国際興業株式会社、埼玉県所沢警察署 ほか

⇒前回(2018年)は、バス事業者は1社(西武バス)のみであったが、今回は圏域内を運行する路線バス事業者3社に車両提供いただいた。各社とも運転手体験等を通して路線バス、コミュニティバスの利用啓発を行った。



△路線バスの展示



△各市コミュニティバスの展示



△タクシーの展示

#### 4 企画乗車券「名栗ひなかざりまっぴ」発売 (※別紙2参照)

「飯能ひな飾り展」の開催に合わせ、名栗地区のひな飾り会場を路線バスでお得にまわることができるセット券を販売する。期間中の路線バス利用者を増加させることを目的に、主に女性をターゲットにし、気軽に名栗のひな飾り展へ出かけ、カフェなどで「特別感」を味わえる内容とする。

- (1) 販売期間 令和2年2月25日(火)～3月8日(日) ※2月10日～先行予約
- (2) 内 容 バス運賃、協賛店でのサービス、高速バスチケット抽選券を含めたセット券
- (3) 販売価格 1,600円
- (4) 販売枚数 200枚限定
- (5) 共 催 国際興業株式会社、(一社)奥むさし飯能観光協会、飯能市

#### ■今後の予定

##### 1 バスの乗り方教室の開催

- ・令和2年3月3日(火)開催予定、原市場地区住民対象
- ・乗り方教室とあわせて名栗地区の飯能ひな飾り展をめぐる
- ・国際興業(株)協力

##### 2 市内高等学校へのバス利用啓発

- ・通学等に使えるバス便の紹介、生徒への配付

##### 3 路線バス沿線への利用啓発ポスティング

- ・国際興業バス名栗本線沿線対象